

## 高岡市教育委員会 12 月定例会議事日程

日時：令和 6 年 12 月 25 日（水）

午後 4 時～

場所：高岡市役所 8 階 803 会議室

日程第 1 委員の席次の決定について

日程第 2 前回会議録の承認（11 月定例会）

日程第 3 教育長報告

日程第 4 議案第 31 号 高岡市荻布奨学金支給審査委員会委員の委嘱について

日程第 5 議案第 32 号 高岡市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則

日程第 6 その他

高岡市教育委員会令和6年11月定例会会議録

1. 開議・閉議年月日及び場所

令和6年11月27日(水)  
 開会 午後1時30分  
 閉会 午後2時20分  
 高岡市役所8階803会議室

2. 教育長及び教育長職務代理者

教育長 近藤 智久  
 職務代理者 長尾 順子

3. 出席委員の氏名

1番 藤 重 歩  
 2番 土 田 一 清  
 3番 成 瀬 隆 倫  
 4番 長 尾 順 子  
 教育長 近 藤 智 久

4. 事務局出席者

教育次長	村 上 彰
教育総務課長	津 幡 佳 成
教育次長(事)学校教育課長	津 田 久
生涯学習・スポーツ課長	澤 田 剛 章
文化財保護活用課長	長 井 剛 志
教育委員会参与	鳥 内 禎 久
教育センター所長	高 松 毅

5. 傍聴者

なし

6. 書記の氏名

高 山 篤 志

**【議事日程】**

日程第1 前回会議録の承認（10月定例会）

日程第2 教育長報告

日程第3 報告第9号 臨時代理の報告について  
（高岡市議会12月定例会に提出する議案に対する意見について）

日程第4 議案第30号 高岡市立学校に対する寄附金募集届の受理について

日程第5 その他

# 会 議 要 旨

令和6年11月27日（水）

午後1時30分、近藤教育長が開会を宣して議事審議に入る。

## 〔日程第1〕 前回会議録の承認

- 先の10月定例会の会議録について、全出席委員が確認し、これに異議がなく、会議録として承認した。

## 〔日程第2〕 教育長報告

### 【教育総務課】

- ・指定管理候補者の選定結果について（資料No. 1）

### 【学校教育課】

- ・12月行事予定（資料No. 2）

### 【生涯学習・スポーツ課】

- ・12月行事予定（資料No. 3）

### 【生涯学習・スポーツ課、文化財保護活用課】

- ・冬季休業施設について（資料No. 4）

委員：最近の中学生は、以前に比べ、自宅ではなく図書館などの施設で勉強する生徒が多くなってきている。土日の図書館は中学生でいっぱいであり、学習室の席は場所取りが必要となっている。本来の図書館の意義も踏まえ、子どもたちにもより使いやすくなるよう、現状を把握したうえで、例えば受験期や土日のみなど日を決めて他の会議室を利用できるようにするなど、対策を検討できないだろうか。

教育長：既存施設としては、生涯学習センターの会議室や地域交流センター、コミュニティセンターなどが考えられるが、いずれにしてもキャパシティには限度があり、また施設としての配置や距離的な問題もある。また、それら施設の会議室などの一般利用客の稼働率は、比較的高く推移していることもある。広い意味での居場所づくりとして、これからの課題である。

委員：コミュニティスクールについて。この先の5年後、10年後の学校の在り方を

考えたとき、とても重要な仕組みになると思う。多様性の時代となる一方、不登校児童も増加している。これからしっかりと中身をつめていただき、充実した内容としてもらいたい。教育分野は、取り組みが実を結ぶまで時間がかかるもの。これからの子どもたちのためにしっかりと取り組んでいただきたい。

教育長：まずは国吉義務教育学校において導入した。これから各中学校区においても、再編統合の流れの中で段階的に導入の検討を進めていく。その地域その地域で、どのような子どもたちに育ってもらいたいのか、そのためにはどのような在り方が良いのか、意見交換しながら議論を深めていきたい。

委員：整備が予定されている教育総合支援センターについて。不登校児童支援や外国人児童生徒の支援など、支援を要する様々な子どもたちのための施設として大変期待しているが、施設の中ではそれぞれの活動スペースを確保する必要があったり、運動スペースの確保が必要であったりと、施設整備においてもしっかりと行わなくてはならない。また、専門性の高い人材の確保も重要である。

教育長：センターの整備は、いわゆる新校舎部分のみではなく、解体する旧校舎部分の一部に増築を行い、一定の広さの活動スペースを確保する予定。グラウンドについても、現在のグラウンド面積の4分の1程度とはなるが、軽運動を行うには十分な広さを確保できると考えている。活動室は、オープンな作りを基本としながらも、必要に応じて間仕切りできるようにするなど、自由度の高いものにしたいと考えている。人材の確保など、人の問題はこれからである。高い専門性が必要であり、教員のOBはもちろん、色々な観点から検討していく必要がある。

委員：立地面からも、通学しやすい環境となる。気軽に相談でき、色々な支援などの情報提供を行える場としてもらいたい。

委員：個性を伸ばす教育が謳われて久しい。個性を伸ばすためには、自分の個性はもちろん、相手の個性も認めていく寛容性を育む必要がある。しかし、昨今の状況は、個性や多様性といった教育を受けてきた世代の人たちが、SNSなどをはじめとして、自分の価値観と合わない人を叩いている風潮にあると感じる。

委員：道徳教育とコミュニケーション能力が重要である。現在、日本的なことが見直されており、しっかりとした道徳を身に付けていかなければならないと感じる。コミュニケーション力は、日本人が苦手としている部分。発信力と捉えられているが、本当の意味で発信するためには聴く力が必要。受け止める力と発信する力を子どもたちから身に付けてもらいたい。

□ 全出席委員ほかに異議がなく、報告のとおり了承した。

〔日程第3〕 報告第9号 臨時代理の報告について  
(高岡市議会12月定例会に提出する議案に対する意見について)

全出席委員これに異議がなく、報告のとおり了承した。

〔日程第4〕 議案第30号 高岡市立学校に対する寄附金募集届の受理について

全出席委員これに異議がなく、原案のとおり了承した。

〔日程第5〕 その他

事務局より報告

・海上保安庁提供の海図を活用したパネル展示について

他に意見はなく、了承した。

午後2時20分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

## 教育長報告

### 【学校教育課】

- ・ 1月行事予定（資料No.1）
- ・ 全国学校給食週間の実施について（資料No.2）

### 【生涯学習・スポーツ課】

- ・ 1月行事予定（資料No.3）
- ・ 図書館情報システムの更新について（資料No.4）

### 【文化財保護活用課】

- ・ 高岡市文化財保存活用地域計画（案）のパブリックコメント（意見募集）について（資料No.5）

## 1 月 主要行事予定表(仮)

高岡市教育委員会 学校教育課 (2024 年度)

日	曜	全 体 関 係	小 学 校・国吉義務教育学校(前期)						中 学 校 国吉義務教育学校(後期) こまどり支援学校	教育センター 少年育成センター	日
			第1 国吉 五位 福岡	第2 博 芳 高岡西部 南条 木津	第3 成美 万葉 能町	第4 高陵 下関 二塚 野村	第5 伏木 古府 牧野 太田	第6 戸出東部 戸出西部 中田			
1	水	(元日)								1	
2	木									2	
3	金									3	
4	土									4	
5	日									5	
6	月	仕事始め								6	
7	火									7	
8	水	3学期始業式						身 中田中	適 3学期始業式	8	
9	木	給食開始 私立高校推薦入試(国際大付属)	身 国吉義務		身 能町 (~1/16)	適 二塚		身 戸出東部 (~1/14)		9	
10	金				適 万葉			身 高岡西部中		10	
11	土	私立高校推薦入試 (高岡向陵・高岡龍谷・富山第一・石川高専) アソシアブルコンテスト高岡地区大会								11	
12	日	私立高校推薦入試 (高岡龍谷通信制)								12	
13	月	(成人の日) 「クリエイティブ・たかおか」最終日 富山高専推薦入試								13	
14	火	情報教育推進委員会企画運営研修会 2 県選スキー (~16日)		講 南条				講 牧野		14	
15	水			適 木津		適 下関				15	
16	木	学校事務研企画運営研修会		訪 南条	適 成美					16	
17	金	中学校長会		適 南条・博芳 適 木津			半 太田 適 講 古府	適 戸出西部	適 こまどり	17	
18	土	私立高校推薦入試(高岡第一)								18	
19	日	越中万葉かるた大会								19	
20	月		適 福岡 適 国吉義務	訪 高岡西部	適 能町			適 身 国吉義務		20	
21	火	生徒指導協議会	講 福岡	講 博芳	半 能町		講 太田		生徒指導協議会④ (15:30 戸出コミュ)	21	
22	水	小学校長会				適 野村		適 戸出西部		22	
23	木	小・中・特支学校教育推進協議会 県中教研研究部協議会 2			適 能町	適 高陵	適 太田	保 国吉義務		23	
24	金			半 高岡西部 博芳	半 成美	適 下関	適 古府 授 伏木	半 戸出西部	講 高陵 保 牧野	24	
25	土									25	
26	日									26	
27	月		半 国吉義務			芸 野村		保 牧野 高岡西部・福岡		27	
28	火		適 福岡			半 高陵 野村	適 太田 半 古府	保 中田		28	
29	水	定例教育委員会 高岡市立学校校長会 5	半 福岡			半 下関 二塚		半 中田 戸出東部	保 志貴野	29	
30	木	中文連企画研修会 2	適 福岡		適 能町 半 万葉	適 二塚	半 牧野		保 南星・高陵	30	
31	金		適 国吉義務 半 五位	半 木津		適 下関 野村	授 古府 適 伏木		授 保 こまどり	31	

(適) 防災・避難訓練    (授) 授業参観    (保) 保護者会    (半) 半日入学・説明会    (ス) スキー学習    (適) 適応指導教室    (芸) (芸術)鑑賞会

(身) 身体計測・視力測定・歯科検診・色覚検査    (訪) 学校訪問研修会・要請訪問研修会    (講) 講演会・出前講座(授業・教室)・講習会

## 全国学校給食週間の実施について

高岡市では、学校給食を活用し食育の推進を図ることを目的に、全国学校給食週間(1月24日～30日)にあわせて毎年テーマを設け、給食を実施している。また、各学校においては、学校給食の意義、役割について理解、関心を高めるための行事を計画している。

## ○テーマ

## 「2025年大阪・関西万博開催！～国際博覧会開催地めぐり～【大阪、愛知、つくば、沖縄、イギリス】」

令和6年度の給食週間は「国際博覧会開催地めぐり」と題して、富山県の郷土料理や特産品を取り入れた給食を実施する。献立を通して、開催地の郷土料理や特産品を取り入れた献立や、開催された国際博覧会のテーマにまつわる献立を実施することで、各地域のよさを知るとともに、これから大阪で開催される国際博覧会への興味関心を高める機会とする。

## ○給食週間中の献立 1月24日(金)～30日(木)

献立	テーマと献立内容
1日目	○愛知 ・ごはん ・えびの天ぷら ・きしめん ・牛乳 ・青じそあえ
2日目	○つくば ・ごはん ・星型ハンバーグ ・ぬっぺ汁 ・牛乳 ・れんこんのごまみそあえ
3日目	○イギリス ・山型食パン ・フィッシュ&チップス ・スコッチブロス ・牛乳 ・茹でブロッコリー
4日目	○沖縄 ・ごはん ・沖縄ちゃんぽん ・もずくスープ ・牛乳 ・マーミナウサチ ・シークワーサーゼリー
5日目	○大阪 ・かやくごはん ・揚げたこ焼き ・粕汁 ・牛乳 ・小松菜とキャベツのひたし ・ぶどうゼリー

## 令和7年1月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事日程
日	曜日		
東洋通信スポーツセンター（高岡市民体育館）			
12	日	9:00～17:00	第66回高岡市総合バドミントン選手権大会
13	月・祝	9:00～17:00	呉西地区フレッシュテニス交流大会
25	土	9:00～17:00	スーパージュニアティールボール交流大会
竹平記念体育館			
11・25	土	8:00～17:00	富山県中学生冬季選手権大会（バドミントン）
12	日	9:00～17:00	高岡室内テニス大会
高岡武道館			
4	土	9:00～17:00	令和7年新春武道稽古始め
19	日	8:30～12:30	市中体連柔道強化練習会・昇級審査会（個人・団体）
ふくおか総合文化センター			
11	土	9:00～17:00	富山県シニアラージボール卓球大会
18・19	土・日	9:00～17:00	すこやかカップ学童交流フットサル大会
高岡市営弓道場			
5	日	13:30～	初射会

## 令和7年1月主要行事予定（文化関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事名
日	曜日		
生涯学習センター事業			
11・18・25	土	10:00～11:00	小中学生対象講座 能楽講座 講師：山崎 健（仕舞・歌謡） 上田 博（太鼓） 瀬賀 尚義（笛） 開催場所：文化芸能館3階『能舞台』 定員 各15名
24	金	14:00～15:30	はじめての万葉集「万葉の木と花」 総論「万葉の木と花」 講師：藤原 茂樹（高岡市万葉歴史館館長） 開催場所：生涯学習センター5階 研修室503 定員 50名 ※全5回（内4回は2月、3月に実施予定）
福岡歴史民俗資料館事業			
31	金	10:00～11:30	古文書講座「古文書から地元の歴史を学ぶ」 講師：仁ヶ竹 亮介（高岡市立博物館 主幹） 開催場所：ふくおか総合文化センター（Uホール）第1研修室 定員 20名 ※全4回（内3回は2月、3月に実施予定）
ふくおか総合文化センター（Uホール）事業			
5	日	9:30～	Uホール自主事業 映画無料上映会「ブルーきみは大丈夫」 開場：9:30～ 開演：10:00～ 上映場所：ふくおか総合文化センター（Uホール）文化ホール 定員：280名（当日先着順） 入場料：無料

## 図書館情報システムの更新について

### 1 概要

平成31年3月に導入した市立図書館の利用者登録、図書資料の貸出・返却等を管理する図書館情報システム及び盗難防止システム機器等のセキュリティおよび利便性の向上のため更新を行うもの。これに伴い、全館で臨時休館とする。

### 2 図書館情報システム更新後の新たなサービス

#### (1) デジタルたかおか生涯学習カードサービス

利用者番号（バーコード）を、スマートフォンの画面に表示することで、窓口での図書の貸出・予約が可能となる。

※インターネットでの図書の予約は平成14年12月に導入済み

#### (2) 図書検索サービスの追加（図書館ホームページ）

##### ① 検索図書の表紙表示

検索結果画面に図書の表紙画像が表示される機能を追加する。

##### ② 検索可能な図書の充実

高岡市立図書館に加え、県内の公立図書館等の所蔵状況を確認する機能を追加する。

### 3 休館期間

令和7年2月14日(金)～27日(木)

※図書館情報システム更新作業のため、全館（中央・伏木・戸出・中田・福岡）を臨時休館。

### 4 運用開始日

令和7年2月28日(金)

### 5 市民（利用者）への周知

館内掲示、貸出レシートへの印字や図書館ホームページで告知するとともに、「市民と市政」1月号、市公式LINE等で周知に努める。

## 高岡市文化財保存活用地域計画（案）のパブリックコメント（意見募集）について

## 1 文化財保存活用地域計画について

平成 31 年の文化財保護法の改正により法定計画（努力義務）と位置付けられた、市町村の文化財の総合的な保存・活用のマスタープラン兼アクションプランとなるもの。

## (1) 計画の位置づけ

本市では、「高岡市歴史文化基本構想（H22）」の考え方を進め、具体的な文化財の保存・活用施策を定める。運用に当たっては、「第 2 期高岡市歴史的風致維持向上計画（R3）」をはじめ他の関連計画と連携・調整を図りながら行っていく。



## (2) 計画期間

令和 8 年度から令和 13 年度まで（6 年間）

## (3) 目指す将来像

歴史と文化が世代を超えて受け継がれ、暮らしの中に息づくまち高岡

## (4) 将来像を実現するための視点

文化財の保存・活用にあたっては、“保存”と“活用”のどちらかに偏った取組みではなく、相互関係を保ちながら保存、活用の循環を図り、

- |                |   |    |
|----------------|---|----|
| ①調べる（把握・研究等）   | } | 保存 |
| ②守る（管理・整備・継承等） |   |    |
| ③伝える（学習・発信等）   | } | 活用 |
| ④活かす（公開・観光等）   |   |    |
| ⑤支える（人材・協働等）   |   |    |

の 5 つの視点から進めていく。



文化財保存と活用の仕組み概念図

## 2 パブリックコメントについて

(1) 実施期間 令和 6 年 12 月 20 日（金）～令和 7 年 1 月 17 日（金）

(2) 閲覧場所 文化財保護活用課（市役所 5 階）、各支所（伏木・戸出・中田・福岡）  
及び市ホームページ

## 3 今後のスケジュール

令和 7 年 1 月 意見とりまとめ

2 月 高岡市文化財保存活用地域計画作成協議会

3 月 文化庁へ（案）を提出

7 月 国の文化審議会において計画認定（予定）

# 高岡市文化財保存活用地域計画(概要版)



【計画期間】令和8年度～13年度(6年間)  
 【面積】209.58km<sup>2</sup>  
 【人口】164,053人(令和5年12月末現在)



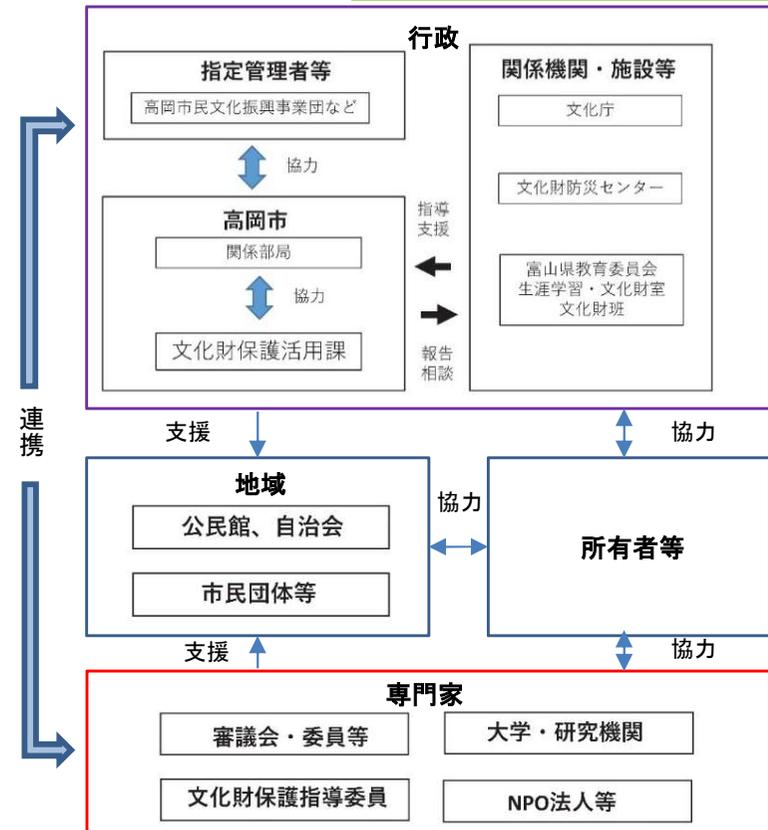
## ☆指定等文化財一覧

文化財の種類	種別	国			県		市	合計
		指定	選定	登録	指定	登録	指定	
有形文化財	建造物	8	-	39	1	-	5	53
	美術工芸品	7	-	0	15	-	56	78
無形文化財		0	-	0	0	0	1	1
民俗文化財	有形の民俗文化財	1	-	1	0	-	2	4
	無形の民俗文化財	1	-	0	1	0	2	4
記念物	遺跡	3	-	0	4	-	14	21
	名勝地	1	-	0	0	-	1	2
	動物、植物、地質鉱物	0	-	0	2	-	10	12
文化的景観		-	0	-	0	-	0	0
伝統的建造物群		-	3	-	-	-	-	3
合計		21	3	40	23	0	91	178

## 高岡市の歴史文化の特徴

指定等文化財 178件  
 未指定文化財 1,802件把握

## ☆推進体制



### ① 豊かな水の恵みによる人々の営み ～西山丘陵・小矢部川・庄川扇状地～

西山丘陵が連なる小矢部川左岸は、古墳が集中するなど早くから人口集積が進んだ地域であった。右岸は庄川扇状地の湧水帯によって、古くから稲作が行われ、近世に形成された散村の風景が現在も残される。

### ② 陸・川・海でつなぐ人とモノの交流 ～北陸道・北前船・鉄道～

小矢部川の舟運や伏木の港津機能は、古代より重要な交通機能として利用されてきた。加越能三州の要として築かれた高岡は、物流・経済の中心として発展し、近代には県内初の鉄道を敷設するなど時代を通じて交通の要衝になっている。

### ③ 大伴家持が愛した越中の風土 ～越中国府と万葉集～

伏木台地は、北陸最古級の寺院である御亭角廃寺をはじめ、越中国府の国庁や国分寺が置かれたほか、国守として赴任した大伴家持が数々の歌を詠むなど、古代から越中の政治・文化の中心となっていた。

### ④ 土地や人に根差した信仰 ～祭礼行事と大寺院～

古代の土地に根差した信仰、中世に広まった多様な仏教信仰は、高岡における文化財の形成の歴史を語る上で重要である。また、信仰と深く結びついている祭礼行事は、高岡独自の歴史的風致を形成している。

### ⑤ バイタリティ溢れる町民のまち ～職人と商人のまち～

高岡中心市街地は、加賀前田家2代当主・前田利長により近世初期に形成された高岡城下町を礎としている。城下町は商工業の町へと転換され、「加賀百万石の台所」として、藩を支えた。

### ⑥ 受け継がれるものづくりの精神 ～伝統と挑戦～

近世以降、商工業都市として発展する中で銅器や漆器などの伝統工芸と技術が発展した。伝統技術を守りつつ時代に応じたものづくりに挑み続ける精神は、現在も息づいている。

# 文化財の保存・活用の課題・方針・措置

歴史と文化が世代を超えて受け継がれ、暮らしの中に息づくまち高岡

【将来像】

【視点】

【保存と活用に関する課題】

【保存と活用に関する方針】

【措置の例】

調  
へ  
る

- ①多くの文化財が把握できていない
- ②調査・研究が十分でない



- ①文化財把握調査の実施
- ②計画的な調査の推進



地域資料継承支援事業



越中国府関連遺跡調査事業

守  
る

- ①所有者等・担い手の減少・高齢化
- ②修理・整備が十分でない
- ③保存施設が十分でない
- ④災害・被害リスクの把握が十分でない
- ⑤防災・防犯対策が十分でない
- ⑥被災文化財への対応



- ①所有者等・担い手への支援
- ②指定等文化財の整備の推進
- ③収蔵施設の検討
- ④文化財の状況把握
- ⑤防災・防犯対策の推進
- ⑥被災文化財の復旧



文化財等修理補助事業



高岡城跡保存整備事業  
(景観再生プロジェクト)

伝  
え  
る

- ①情報発信が十分でない
- ②文化財を知る機会が十分でない



- ①文化財情報の内容・発信の充実
- ②郷土学習機会の充実



ものづくり・デザイン科事業



高岡再発見プログラム事業

活  
か  
す

- ①公開・活用の充実が必要
- ②周辺環境整備が十分でない
- ③観光活用の充実が必要



- ①公開・活用の推進
- ②周辺環境整備の推進
- ③文化観光の推進



ミラレ金屋町開催事業



生きた歴史体感プログラム事業

支  
え  
る

- ①行政の連携体制の円滑化
- ②地域における保護体制が十分でない
- ③文化財保護の支え手の減少



- ①行政の連携体制の整備
- ②所有者・地域・専門家・行政の連携体制の構築
- ③文化財保護の支え手の育成



地域・専門家・行政の連携



地域・大学・行政の協働

議案第 31 号

高岡市荻布奨学金支給審査委員会委員の委嘱について

高岡市荻布奨学金支給審査委員会委員を次のとおり委嘱する。

令和 6 年 12 月 25 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

氏 名	性 別	所属団体等名称
梅島 清香	女	総務文教常任委員会委員長

(任期 令和 6 年 12 月 25 日から令和 7 年 1 月 31 日まで)

## 日程第5

定例教育委員会  
令和6年12月25日  
教育総務課

### 12月定例教育委員会提出議案（規則）の概要について

〔規則〕 1件

議案第32号 高岡市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則

〔趣旨〕

令和6年高岡市議会12月定例会における高岡市体育施設条例（平成17年条例第213号）の一部改正に伴い、規則の規定事項について所要の改正を行うもの。

改正箇所 ・高岡市イベント広場の名称変更  
・利用料金設定単位の変更に伴う様式の改正

施行期日 令和7年4月1日

議案第32号

高岡市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和6年12月25日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

高岡市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則

高岡市体育施設条例施行規則（平成17年高岡市教育委員会規則第48号）の一部を次のように改正する。

第5条第7号中「イベント広場」を「人工芝フィールド」に改める。

様式第9号を次のように改める。

高岡市サッカー・ラグビー場利用券			
1時間につき			円
入場時間	時		分
退場時間	時		分

様式第10号を次のように改める。

高岡市人工芝フィールド利用券			
1時間につき			円
入場時間	時		分
退場時間	時		分

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

令和6年12月定例会での質問及び答弁の概要（教育委員会関係）

- 一般質問（一括方式） 令和6年12月9日（月）、10日（火）
- 一般質問（一問一答方式） 令和6年12月13日（金）

教育総務課

	質問	答弁	方式
1	<p>令和6年能登半島地震について</p> <p>・避難場所に指定された小中学校の体育館のエアコン設置に向けた環境整備について、県や関係団体と連携し国に要望しては。</p> <p>（教育長）</p>	<p>先月22日に閣議決定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」において、避難所となる全国の学校体育館への空調整備について、ペースの倍増を目指して計画的に進めるとされた。これを踏まえた、令和6年度補正予算案において避難所となる学校体育館等への空調設備の整備を加速するために必要な予算を計上するとのことである。</p> <p>体育館へのエアコンの設置については、多額の設置費用を要することが見込まれるとともに、光熱費を始め、学校施設全体の維持管理費用にも影響することから、現時点では、国の支援内容の詳細について、注視してまいりたい。</p>	一括

学校教育課

	質問	答弁	方式
1	<p>「持続可能なたかおか」について</p> <p>・児童生徒の個性を伸ばす教育を充実させては。</p> <p>（教育長）</p>	<p>各学校では、日頃から、児童生徒が互いのよさや個性を認め合い、尊重し合って、高め合う校風づくりを推進しながら、学校生活や学習活動など様々な場面で、一人ひとりが個性、つまりは、自分らしさを発揮できるよう努めている。</p> <p>さらには、長期休業期間などを利用して、児童生徒がそれぞれの興味関心に応じて、絵画や作文、科学研究、音楽等の作品応募やコンクールのほか、「科学オリンピック」や「思考大会」、「中学生の主張」、「ロボットプログラミング」などの活動への参加を積極的に促しており、そうした中で成果を上げ、自信を深めている児童生徒も少なからず見られる。</p> <p>今後も、児童生徒に多様な学習の場面や活動機会を提供する中で、児童生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、個性を伸ばす教育のさらなる充実に努めてまいりたい。</p>	一括
2	<p>・児童生徒が地域活動に参加する取組を進めては。</p> <p>（教育長）</p>	<p>各学校においては、これまでも弥栄節踊り、伏木帆柱起し祝唄踊り等の伝統文化の継承活動や、福岡つくりもんまつり、中田かかし祭り等の作品づくりに取り組み、地域の祭礼やイベントに参加したり、地域の</p>	一括

		<p>方々の協力をいただきながら、木津大根の種まき・収穫、国吉りんごの摘果・収穫といった農業体験を行ったりしている。そのほか、地域交流センター（公民館）で開催されている行事に出向いて、中学生が運営ボランティアとして携わる取組も行われている。</p> <p>今後とも、ふるさと高岡や地域への愛着と誇りを育み、将来、持続可能な地域や社会の担い手として活躍できるよう、児童生徒が地域活動に参加する取組を大切にしていまいる。</p>	
3	<p>ヤングケアラーについて</p> <p>・県が実施したヤングケアラーに関する実態調査による、子ども達の声に対する教育現場としての受け止めは。 （教育長）</p>	<p>令和4年9月から10月にかけて、中学2年生と高校2年生を対象に県が行ったヤングケアラーに関する実態調査では、「ヤングケアラーという言葉は初めて知った」、「ヤングケアラーに対する理解を広める取組が必要」などの意見が寄せられたと承知している。</p> <p>こうしたことを踏まえ、国や県が出しているヤングケアラーに関する児童生徒向けのリーフレットや啓発カードを利用するなどして、教職員はもとより子どもたちの理解を促進することや、ヤングケアラー自らがSOSを発信したり、周囲の児童生徒が気付いて大人に伝えたりできるようにすることなどを通して、早期発見につなげていくことが大切である。</p> <p>ヤングケアラーの疑いがある場合には、これまでも学校と教育委員会で速やかに情報共有を行うとともに、スクールソーシャルワーカー等の専門家や市の関係部局、関係機関とも連携しながら、それぞれのケースに応じた支援に努めているところであるが、今後とも、ヤングケアラーのより一層の早期発見や早期支援に向けて取組を強化してまいりたい。</p>	一括
4	<p>本市の創業者支援の取り組みについて</p> <p>・中学生時の進路選択を迎える時期までに、高校受験だけでなく将来どうありたいかを考える機会のさらなる充実を図ってはと考えるが、見解は。 （教育長）</p>	<p>各学校においては、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを目指し、キャリア教育を教育計画に位置付けている。</p> <p>例えば、中学2年生で実施している「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」に加え、各学校では、富山県経済同友会や富山県機電工業会、あるいは地元企業等の協力を得て、出前講座や企業見学等を実施するなどして、生徒が勤労観や職業観を育み、夢や希望、憧れをもつことができるよう努めている。</p> <p>引き続き、経済団体や地元企業、新たに起業された卒業生の方などの協力を得て、様々な生き方や考え方に触れる機会を創出し、生徒が自己のよさや可能性に気づき、自らの夢や希望に向かって挑戦しようとする態度の育成を目指してまいらる。</p>	一括
5	<p>脳脊髄液減少症について</p> <p>・文部科学省から学校への事務連絡を受けて、学校現場の対応状</p>	<p>各学校ではこれまでも、特に、頭部の外傷については負傷児童生徒の状況確認を的確に行うとともに、頭痛やめまい、吐き気などの症状が見られる場合は、速やかに医療機関を受診させるようにしている。また、当初は軽傷と判断された場合であっても、保護者と確実に情報を共有し</p>	一括

	<p>況は。 (教育長)</p>	<p>ながら、その後の負傷児童生徒の経過観察を丁寧に行っている。</p> <p>脳脊髄液減少症は、一般にはあまり知られていない疾患であることから、保健指導や教職員研修の機会を捉えて児童生徒や保護者、教職員の理解を深めるとともに、脳脊髄液減少症と診断された児童生徒に対しては、学校生活に支障が出ないように保護者や医療機関とも十分に連携し、必要な配慮を行ってまいり。</p> <p>今後も、児童生徒の安全を最優先と捉え、学校における事故の防止に努めるとともに、事故後の適切な対応について、万全を期して取り組んでまいりたい。</p>	
--	----------------------	---	--

### 生涯学習・スポーツ課

	質問	答弁	方式
1	<p>活力ある地域づくりに向けて ・地域交流センター設置に伴い配置された生涯学習支援員の役割と地域における生涯学習の目指す姿は。 (教育長)</p>	<p>教育委員会では、地域交流センター移行後も、各地域における生涯学習活動が後退しないよう、生涯学習支援員を派遣しているところである。</p> <p>この生涯学習支援員は、公民館長のもと、生涯学習事業の企画立案や運営等を行うものであり、例えば、公民館まつりや地域独自の講座、公民館事業補助金（地域生涯学習推進事業補助金）を活用した事業に取り組んでいただいている。</p> <p>地域交流センターが地域コミュニティの核としての役割を果たし、さらには生涯学習、社会教育の場として一層の充実を図るためには、これら生涯学習支援員の企画・運営能力の向上が必要である。引き続き定期的な研修会や生涯学習支援員同士の情報交換会を行い、市民の皆様へ質の高い生涯学習の場を提供できるよう取り組んでまいりたい。</p>	一括
2	<p>新高岡駅周辺地区について ・新総合体育館建設予定地の多目的広場の有効活用について、考えは。 (教育長)</p>	<p>高岡スポーツコアは、大型商業施設が近接し、アクセス道路も整備されているなど、立地環境に恵まれた施設であり、県内外から多くの方々にご利用いただいている。昨年度からイベント広場の照明設備設置及び人工芝化するリフレッシュ事業に取り組み、まもなく供用開始する予定である。</p> <p>現在、凍結している総合体育館の建設予定地でもあったスポーツコア多目的広場の利活用方法については、現在は多くのスポーツ等でも利用される本市にとって大切な広場であり、今後も市民が使いやすく、また様々な使い方ができるようにしていくためにも、どの様なニーズがあるのかをしっかりと踏まえた上で、街行く人が目で見、賑わいを感じていただけるようなスポーツコア全体のポテンシャル向上につながる検討を進めて参りたい。</p>	一問一答

文化財保護活用課

	質問	答弁	方式
1	赤レンガ建物について ・旧高岡共立銀行の利活用推進における総事業費のうち本市の財政負担は。また、どのような事業スキームで進めていくのか。 (未来政策部長)	本市の財政負担については、耐震補強及び復原修理に関して、国・県の支援制度の活用を想定しているものの、補助対象となる経費の範囲等については、今後、事業者の設計作業等の進捗を見ながら協議を進めていくこととなる。  事業スキームについては、事業全体をコーディネートする代表企業、ホテル運営会社、設計事務所で構成する共同事業体（コンソーシアム）で事業展開していく提案となっており、構成事業者がそれぞれの役割を分担しながら、令和10年のホテル・レストランの開業に向けて事業を進めていくこととなる。	一問 一答
2	・旧高岡共立銀行の利活用推進にかかる耐震化や復原修理について、国・県のどのような支援制度を活用していくのか。 (未来政策部長)	現時点では、耐震補強や復原修理について、国の「国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金」と、県の「文化財保存整備費補助金」の活用を想定しているが、本市にとっても有利な制度の活用を探ってまいりたいと考えており、実際に活用する具体の補助メニューや対象となる経費の範囲等については、今後、事業者の設計作業等の進捗に合わせて協議していくこととなる。	一問 一答